

スクールカウンセリングルームにおける児童生徒のサポートと環境との関係

A relationship between supports for students and environments of counseling room in the school.

鎌田 彩夢 (Ayamu Kamada) 指導：佐藤 将之

1. 1. 研究の背景と目的

現在、多くの学校にスクールカウンセラー (SC) が配属されている。しかし、環境系学会においてスクールカウンセリングルーム (CR) に着目した研究はされていない。故に物理的環境に関する知見も必ずしもSCのサポートを反映されていない。本研究ではCRの現状を把握し、サポートと環境との関係を探ることを目的とした。またCRに求められる機能を明らかにし、学校環境の計画資料となることを目指す。

1. 2. 調査方法と調査概要

文部科学省が示すCR環境の文献を調査した。また、SCにCR環境についてアンケートを行い、34校分のデータが得られた。さらに、8人のSCにヒアリングをした。

2. 日本におけるスクールカウンセリングルーム

文部科学省が提唱している資料よりCRは校舎に必須でないこと、CRの教室数や面積の最低基準は単独では定められていないことが明らかになった。これらより、CRは学校環境の中で優先順位が低いと言える。しかし、多くの自治体でのSCの全校配属していることと、余裕教室が増加していることから、今後、CRは単独設置されていくだろう。

3. 学校におけるスクールカウンセリングルーム

配置環境の使いやすさに関するSCへのアンケートより、配置がサポートに影響することが明らかになった。また、使いやすさを感じる理由に関するヒアリングより、SCは利用者視点で議論していることが分かった。CR利用者は、教職員、保護者、児童生徒相談者、不登校生など、児童生徒である。また、利用者は大きく分けると、大人、児童生徒利用者、今後利用するかもしれない児童生徒に分けられる。図1のように、利用者は異なる機能を求めており、全ての利用者が使いやすい環境となるのが理想的だ。しかし、守秘と周知は相反する関係であり、同時に成り立たない。そこで学校やカウンセラーが重視している配置を明らかにした。学校は保健室が近い配置、教室が遠い配置が多い。また、SCもアンケートにおいて保健室・教室群との距離に関して多く回答した。これらより、「職員室連携機能」と「児童生徒相談機能」は多くの学校で配慮されており、SCはこれらの機能を多く体験していると言える。一方で、教室近所型は少ない。これより、多くのSCは「ふらっと機能」を経験していないと考えられる。「ふらっと機能」を1校でも体験しているSCは教室が近くても遠くても使

いづらいついてる。つまり、「児童生徒相談機能」と「ふらっと機能」の両方を議論している。これらより、SCの機能体験がCRに求める機能に大きく影響していると考ええる。多くの学校で守秘を重視しているが、学校の方針でなく、「ふらっと機能」が議論されていないのかもしれない。学校がCRの環境を整理する材料となるために、環境条件を示した。

4. スクールカウンセリングルームの利用場面

また内部環境がサポートに与える影響を理解するために、CRの利用場面を把握する必要がある。そこでSCへCRの様子についてアンケートとヒアリングを行った。CRでの児童生徒の様子や、サポートの様子とそのケアの意図を把握した(図2)。機能させるためには、配置計画と内部環境ともに条件を成立させることが重要だと考える。故にSCがサポートのために設える内部環境と配置計画が一致しなければ、サポート意図が十分に機能しないと考える。学校ごとに求めるカウンセリング機能は異なる。SCのサポート意図とCR環境が一致することでより質の高いカウンセリング環境となる。学校でカウンセリング方針を決定する際に環境の考察もされることが重要だ。

5. まとめ

学校や自治体の雰囲気や方針で重視すべきCRの機能は異なる。今まで学校で議論されてこなかった「ふらっと機能」も議論に加えるべきだ。「ふらっと機能」が成立していないCRは「児童生徒相談機能」も機能し切れないと考える。守秘がしっかりしていても、嫌厭され入りづらい場所になってしまうようだ。CRを「ふらっと機能」で児童生徒の身近なものとするので、初めて「児童生徒相談」が機能すると考える。こどもに関わる大人が少なくなった現代において、話をよく聞いてくれる大人がいる、ふらっと立ち寄れる場所、それを児童生徒は求めているのではないだろうか。環境とサポートには多くの誤差がある。今後、CR環境の考察が十分にされ、サポート意図とCR環境が一致し、求めるサポートが機能することを願う。

情報共有	保護者・教職員との連携のしやすさ	職員連携機能 保護者相談機能	大人
守秘	情報の漏れにくさ、内密なカウンセリングの受けやすさ	児童生徒相談機能 クールダウン機能	児童生徒
周知	児童・生徒からのカウンセリングルームの認知されやすさ	誰でもふらっと機能	

図1 CR利用者と求める機能